## 見通しとふり返りに視点をおいた理科における思考力の育成

川崎市立東菅小学校 松木 瑞穂 発表日 令和4年8月4日

① 実践の目的

## 実践の目的

豊かな心をもち、 たくましく未来を切り拓く児童の育成

育てたい資質・能力

自分自身を みつめる力

他者から 学ぶ力 経験や既習を関係付けて、 問題発見、解決する力

#### 人間性を育むための思考力の育成

# 実践の目的

豊かな心をもち、 たくましく未来を切り拓く児童の育成

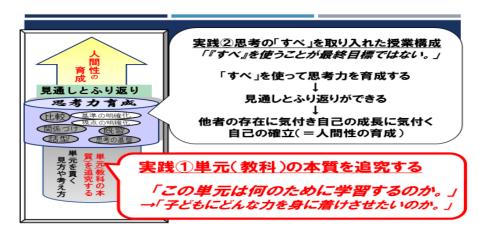
#### 人間性を育むための思考力の育成

教師主体の 知識伝達型授 業



子どもが見通しをもち 子ども自身がふり返る 授業

② 実践の内容A【単元の本質について】



# 実践の内容①

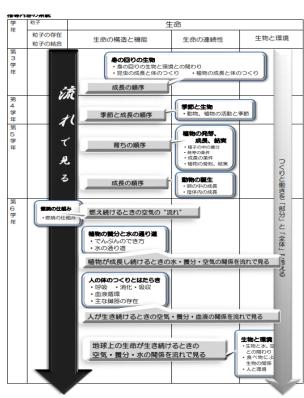
### 第6学年

「燃焼のしくみ」 「植物の養分と水の通り道」 「人の体のつくりとはたらき」 「生物と環境」

## 単元の本質



事象には流れがあり、 常に変化し続けていく。



# 実践の内容①

「燃焼のしくみ」

物が燃え続ける時の 空気<u>の流れ</u>

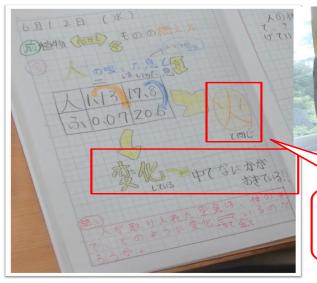


「植物の養分と 水の通り道」

植物が 成長し続ける時の 水・空気・養分の流れ



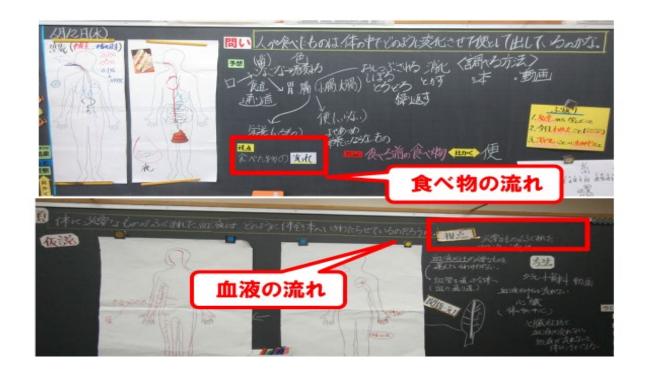




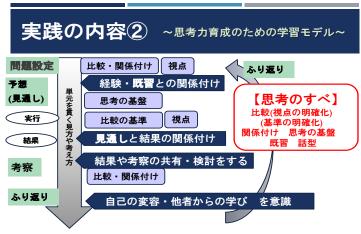


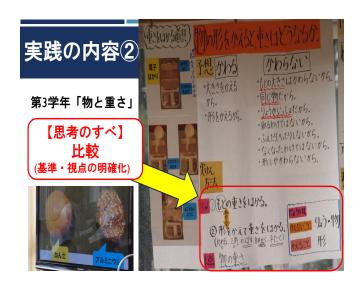
「人の体のつくりと はたらき」

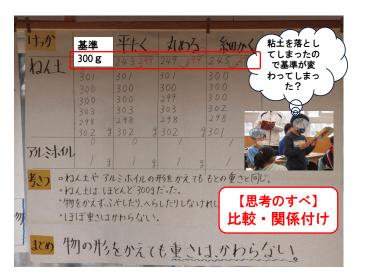
既習と関係づけ、<u>体の中に取り入れられた空気の成分が変化した</u>と考えている。

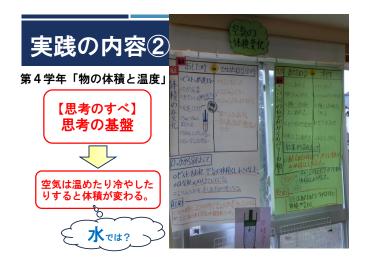




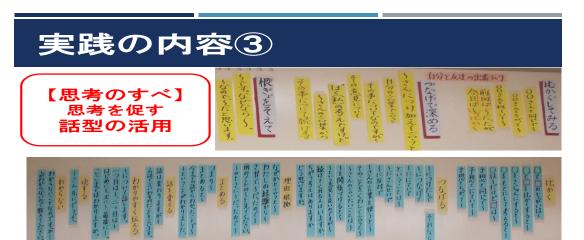














#### ③ 実践の成果

#### 実践の成果 令和2年度児童アンケート結果 2学校の学習はわかりやすい。 6% 2% 2% 既習を用いて考えるこ とが習慣化されてきた。 あてはまる ・比較、関係付けなど思 ■ ややあてはまる 考のすべを子どもがも ■ややあてはまらない ち始め、授業の中で考 • あてはまらない えを深めていく姿が見 ■ わからない られてきた。

比較や思考の基盤など思考のすべを使うことで見通し をもって問題解決へと向かうことができるようになり、 経験や既習を関係づけて物事を考え、自信をもって学習 に向かっている。

#### 

ふり返り 深めたり、友達からの学びを実感できたりするようになり、自分とは違う他者の存在への気づき、自分だけではなく様々な異なる考えを尊重し、認め合う姿が増えた。